

第288号

平成18年度 第2号

# 親潮

北水同窓会

<http://hokusui.fish.hokudai.ac.jp>

平成19年2月28日

# 食文化の急速な国際化に伴い 水産総合商社を目指す道水



株式会社 道 水

代表取締役会長 高野洋藏（24年製造科卒業）  
代表取締役社長 高野元宏

水産物卸売及び加工販売、水産物輸出入、冷凍冷蔵倉庫、不動産賃貸業

本社	函館市豊川町27番5号	TEL(代) 0138)22-7136	FAX 0138)22-3777
はこだて工場	北斗市清水川142番24号	TEL 0138)77-2200	FAX 0138)77-1800
韓国支店	大韓民国釜山廣域市中區中央洞四街53-17(第一火災ビル9階)	TEL 82-51-462-2456	FAX 82-51-462-1567
東京営業所	東京都港区芝浦4丁目16番36号(住友芝浦ビル)	TEL(代) 03)3451-0194	FAX 03)3451-1945
札幌営業所	札幌市中央区北12条西20丁目1番26-301号(第2丸果ビル)	TEL 011)640-7822	FAX 011)640-7833
仙台営業所	宮城県仙台市榴岡4丁目5番24号(第一バークビル2F)	TEL 022)791-7017	FAX 022)791-7018
長岡営業所	新潟県長岡市台町1-8-26(グリーンピア台町)	TEL 0258)31-0231	FAX 0258)31-0232
名古屋事務所	愛知県名古屋市港区小碓3丁目126番地(丹羽マンション2棟231号)	TEL 052)389-5775	FAX 052)389-5775
中国大連事務所	中華人民共和国遼寧省大連市中山区祝賀街35号(錦联大厦1710号)	TEL86-411-8252-7815	FAX86-411-8252-7912

郵便はがき



0 4 1 8 6 1 1

函館市港町三の一の  
一

北海道大学水産学部内

北 水 同 窓

会  
行

## 創基100周年記念行事参加申込書

母校創基 100 周年記念行事が別紙の通り決定しました。については、会場その他計画の都合がありますので、人数把握のため下記の記念行事に参加される方は出欠の項をマル（○）で囲み、3月20日までに切手を貼ってご投函ください。

- |            |   |   |
|------------|---|---|
| 1. 記念式典    | 出 | 欠 |
| 2. 北水同窓会総会 | 出 | 欠 |
| 3. 祝賀会     | 出 | 欠 |

現住所・電話番号

氏名・卒業年次

ありがとうございます。

北水同窓会本部

# **北海道大学水産学部創基100周年記念行事日程のご案内**

下記の通り水産学部創基100周年記念行事を行いますので、多数のご参加をお待ちしております。なお、およその参加人数を把握する必要があることから、本誌に添付しました葉書で北水同窓会宛にお申し込みください。

## **平成19年5月26日（土）**

(受付開始 8:30~)

**記念式典 10:00 ~ 11:15 学部講堂  
記念碑除幕式 11:30 ~ 11:45 学部キャンパス**

(大学生協等で昼食および水産資料館等の見学)

(水産学部から函館駅前・函館国際ホテルへ移動：貸切バス 13:10発)

**記念講演会 14:00 ~ 16:10 函館国際ホテル**  
(受付開始 16:15~)

**北水同窓会総会 17:00 ~ 17:40 函館国際ホテル**

**祝賀会 18:00 ~ 20:00 函館国際ホテル**

**☆水産資料館等公開 8:30 ~ 14:00 学部キャンパス**

(水産資料館リニューアルセレモニー 9:00~)

## **平成19年5月27日（日）**

**練習船公開 8:30 ~ 12:00 おしょろ丸・うしお丸**

(船上レセプション 10:30~、於おしょろ丸甲板上)

**☆水産資料館公開 8:30 ~ 12:00 学部キャンパス**

## **創基100周年記念講演会のご案内**

水産学部創基100周年記念行事の一環として、記念講演会を行います。アラスカ大学国際北極圏研究センター創設所長の赤祖父俊一教授および本学部出身の動物写真家田中光常氏（19ゾ）による講演を予定しています。多数の皆様のご来聴をお願い申し上げます。

平成19年2月  
北海道大学大学院水産科学研究院  
研究院長 原 彰彦  
(北海道大学水産学部創基100周年記念事業実行委員長)

## **北水同窓会第87回定期総会の開催**

第87回北水同窓会定期総会は創基100周年記念行事にあわせて平成19年5月26日に函館で開催いたします。全国各地より多数の会員の皆様のご出席をお待ちしております。

平成19年2月  
北水同窓会本部幹事一同  
北水同窓会函館支部一同

# 親潮 (第288号)

## 目 次

### お願い

「水産学部100周年の歩み」写真の提供のお願い

「親潮」が新しくなります!!

同窓会ネットワーク誌「親潮」への広告のお願い

会費納入のお願い

### 本部だより

水産学部創基100周年記念事業・行事について	猪上 徳雄 (41セ)	… 1
函館キャンパスの現在の様子	猪上 徳雄 (41セ)	… 1
北大フロンティア基金のお願い	猪上 徳雄 (41セ)	… 3

### 会員の受賞

田口 哲 氏 2006年度海洋学会賞 受賞	戸田 龍樹 (59ゾ)	… 3
-----------------------	-------------	-----

### 支部・会員だより

平成18年度北水同窓会京滋支部総会報告	小林 正昌 (39増)	… 4
二五会 日本最南端での集い	廣崎 芳次 (25ゾ)	… 4
昭和39年入学及び43年卒業の同期会	斎藤 勝 (43ギ)	… 5
寿洋会（新制遠漁2期）箱根で開催	高橋 孝 (24エ)	… 6
「昭和34年卒業生同期会」開かれる	斎藤 勝男 (34ゾ)	… 7
昭和37年卒 同期会	和泉 博邦 (37ゾ)	… 8
第57期札幌同期会	和田 靖裕 (42ギ)	… 9
昭和55年卒同期会開催	木村 暢夫 (55ギ)	… 9

### 追悼

黄金末広君（昭16後漁）の死を悼む	上野 元一 (16後漁)	… 11
信濃晴雄先生のご逝去を悼む	川合 祐史 (55食)	… 11
会員死亡通知		… 12

### ご案内

藤井船長の航海写真集50冊図書館に	鵜沼 ワカ (元医務室看護婦)	… 13
新刊紹介「海の生物多様性」大森信、ボイス・ソーンミラー著	池田 勉 (43ゾ)	… 15

### 学内ニュース

学位取得者と論文題目		… 15
会員異動		… 16
有朋自遠方來不亦樂乎		… 16
編集後記		… 17
投稿規定		… 17

# 「水産学部100周年の歩み」写真の提供のお願い

水産学部創基100周年記念事業 記念式典専門委員会  
「水産学部100周年の歩み」作成ワーキンググループ

水産学部創基100周年に関連して、平成19年5月26日（土）18:00～20:00に函館国際ホテルで「創基100周年記念祝賀会」を開催いたします。この祝賀会の中で流すスライドショー「水産学部100周年の歩み」の制作を開始いたしましたが、皆様の在校時の様子を紹介する、活き活きした写真が不足しています。つきましては、皆様がお持ちの水産学部在籍当時の写真を御提供していただけませんでしょうか？講義や実習風景だけではなく、課外活動や様々な場面を希望いたします。

- 1：写真またはリバーサルフィルム、写真をスキャンしたデジタルデータ（写真またはリバーサルフィルムの場合、裏面や枠にお名前をお書きください、返却の際に必要です。）
- 2：お一人様3枚まで
- 3：写真に関連する情報もお知らせください（例：昭和59年9月頃、XX実習）。
- 4：締め切り、平成19年5月9日（水）
- 5：送付先、〒041-8611 函館市港町3-1-1  
北海道大学水産学部 高津哲也  
またはtakatsu@fish.hokudai.ac.jp（メールは2MB以下に分割してください）

皆様から御提供いただいた写真およびデータは、今回のスライドショー以外にも、水産学部と北水同窓会の活動範囲内で、様々なメディア（例えばホームページやパンフレット、書籍など）で二次使用させていただく場合がございます。ご了解ください。

## ◆ 親潮が新しくなります!! ◆

平成18年度より、水産学部新入学生（1年生）のうち、同窓会費を納入した学生にも「親潮」を配布しております。そのため、在学生が読んでも有用で楽しい同窓会誌となるよう、次号（2007年8月発行予定）より誌面を大幅に刷新いたします。

- ①従来B5版・横書であったものをA4版・縦書とし、カラー化します。  
より読みやすく、親しみやすい誌面をめざします。
  - ②水産学部や同窓会からの情報発信を強化します。  
編集部が主体となって水産学部や水産科学研究などに関する最新のインフォメーションを発信する特集ページを作ります。このほかにも各種の情報を発信するページを計画中です。
  - ③従来の寄稿のページを強化し、OBの皆様、在学生の皆様、教職員の皆様からの寄稿のページを作ります。  
これまでおもにOBの皆様からの寄稿を掲載していましたが、今後は在学生や教職員からの寄稿も積極的に募ります。
  - ④支部・会員の皆様の現況や活動状況、情報交換の場として、支部・会員だより欄を作ります。  
各種講演会やイベントなど支部の活動のご案内、会員の著作などのご案内のほか、支部の活動報告、会員の受賞、弔文など、どしどしご投稿ください。
- これに伴い、投稿規定を次のように改めます。ただし、新しい誌面をよりよくするため、投稿規定は皆様からのご意見を拝聴しながら適宜改訂してゆく予定です。

### 親潮投稿規定

**寄稿：**お一つのご投稿につきA4版・1ページ（1段500字×4段、2000字）とする。この制限以上の長文あるいは連載をご希望の場合は3号分までとする。写真をいれる場合、その分の文字数が減る。

**支部・会員だより、会員の受賞、ご案内等：**お一つのご投稿につき1段（900字）とする。写真をいれる場合、その分の文字数が減る。

＊＊＊（掲載の可否および掲載号については編集部が決定する。）

## 同窓会ネットワーク誌「親潮」への広告のお願い

同窓会誌「親潮」への広告を募集しております。次号（平成19年度第1号、289号）から、「親潮」の誌面を刷新致します（A4版カラーに改訂されます）。そのため、下記のように広告掲載ページおよび広告料を変更致します。

従前からの広告主は勿論のこと、「親潮」が新しくなるこの機会に新規の広告主の応募も歓迎しております。同窓会支部幹事の方々ならびに会員各位による広告主の開拓を切にお願い致します。広告は随時受け付けており、広告料は親潮1年分について、以下のようになっております。お問い合わせは、北海道大学水産学部同窓会で承っております。

表紙裏面または裏表紙の両面

1ページ 80,000円

1／2ページ 40,000円

普通ページの下段（右図参照）

横長1／4ページ 20,000円

1／8ページ 10,000円

## ◆ 会費納入のお願い ◆

北水同窓会の年会費（4,000円）の納入をお願い申し上げます。

本部の運営は、この同窓会費すべて賄っておりますが、近年不況のためか会費の納入率が低下しております。親潮を受け取っておられます方は、すべて北水同窓会の会員でございます。会員の皆様におかれましては、本会の運営維持のため、年会費を是非お納め頂きたくお願い申し上げます。なお、過去の未納分は問いません。

また、今年度は平成19年度北水同窓会会員名簿の発行が予定されております。会員名簿は会費を納入された方のみに無料で配布致します。

会費納入の際には、本号巻末に綴じ込みの郵便振替用紙をご利用ください。また、郵便局にてご自分で振替用紙にご記入される場合には、下記の振替口座番号および加入者名をご記入ください。併せて郵便自動払い込み制度をご利用されたい方は、本部に自動払込利用申込書がございますのでご用命ください。すでに郵便自動払込の手続きをされている方は、毎年7月31日に引き落としになりますので通帳の残高のご確認をお願い申し上げます。

振替口座番号：02620-5-581

加入者名：北水同窓会

なお、会費納入方法のお問い合わせ、住所変更等のご連絡は北海道大学水産学部同窓会（〒041-8611 函館市港町3-1-1、電話&FAX：0138-42-3681、E-mail：hokusui@hotweb.or.jp）で承っております。電話受付時間は、午前9時から午後3時までです。

## - ◇ 本 部 だ よ り ◇ -

### 水産学部創基100周年記念事業・行事について —記念講演会と記念祝賀会のご案内—

幹事長 猪上 徳雄 (41セ)

本年は母校が創基されましてから、数えて100周年を迎える意義ある年であります。

このときに当たり、母校では各種の記念事業が計画され検討されてまいりましたが、現在、水産科学研究院（水産学部）では水産科学研究院教育研究・学術交流支援基金の募金活動を推進しております。今までの四半世紀ごとの記念式典或いは八十八周年記念式典にも増して、歴史的に意義深い100周年記念式典であります。何とか同窓会会員皆様のお力添えによって、第85回定期総会（名古屋開催）でご承認いただいた当初の計画を達成したいものと念願しております。誠に恐縮に存じますが、何卒特段のご配慮をお願い申し上げます。

本号にもご案内のように記念行事の日程も決まりました。記念講演会および記念祝賀会（会員交

歓会を兼ねる）を開催し、意義ある一世紀を振り返り、祝意を交わすと共にさらに水産学部が将来に向かって躍進するよう応援したいと存じます。また、同時に北水同窓会の第87回定期総会を開催いたします。万障お繰り合わせの上、一人でも多くの同窓の皆様がご参加下さいますようお願い申し上げます。

#### 記

#### 記念講演会および記念祝賀会

日時：5月26日（土）

午後2時 記念講演会

赤祖父 俊一氏

アラスカ大学国際北極圏研究センター創設所長

田中 光常氏 (19ゾ)

動物写真家

午後5時 第87回定期総会

午後6時 記念祝賀会

(会員交歓会を兼ねる)

会場：函館国際ホテル（函館市大手町5-10）

会費：7,000円（当日持参）

以上

### 函館キャンパスの現在の様子

幹事長 猪上 徳雄 (41セ)

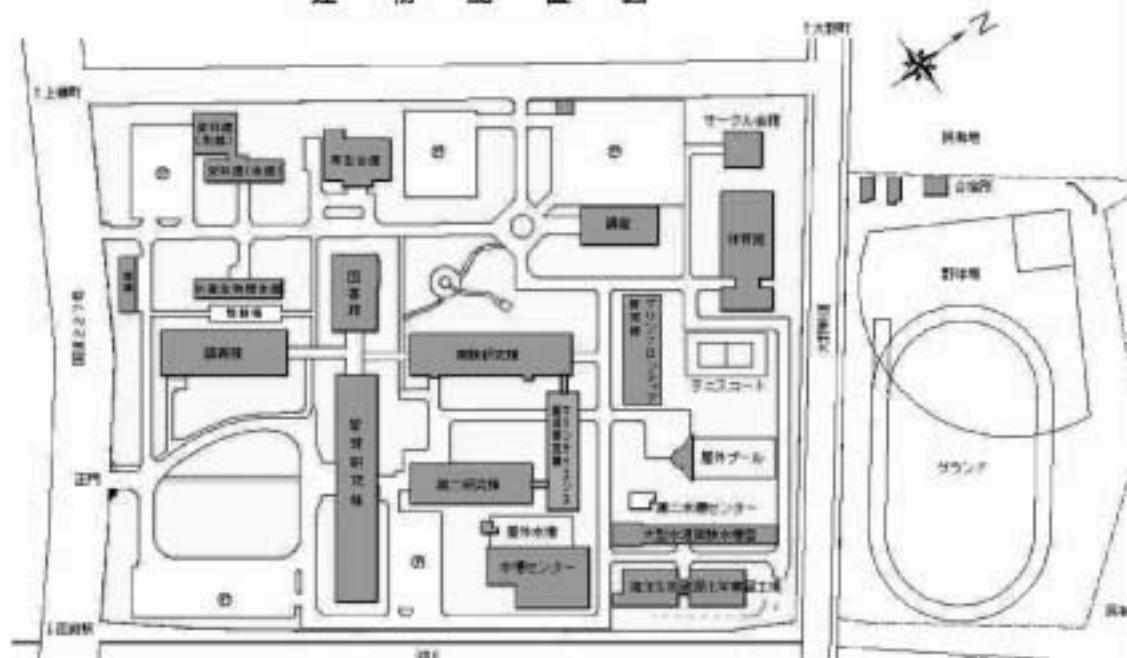
北海道大学函館キャンパスには新しい研究棟などが設置されましたことは、今までの親潮の表紙等で紹介しております。マリンフロンティア研究棟（親潮第283号、平成16年度第1号）、函館市産学官交流プラザと合築になりました、マリンサイエンス創成研究棟（親潮第287号、平成18年度第1号）であります。今回は、これらの函館キャンパス内での位置関係についてご紹介します。建物配置図を参照しながらご確認ください。

一番古い建物は講堂で、窓枠など一部改修して

建設当時のまま残っているものです。水産生物標本館と名称変更になっている建物は旧北洋研究施設（中部研究館）で現在は水産科学研究院が所蔵する貴重な標本資料を保管しています。マリンフロンティア研究棟は独立した建物となっています。学内共同研究や大学と企業との共同研究推進を目的とした共用スペースとなっています。マリンサイエンス創成研究棟は第2研究棟とは1～3階の各階に連絡通路があり、学生実験棟とは2階に連絡通路が設けられています。現在、大学院の国際化を推進するために先端的科学研究スペースとして活用しています。

同期会や今年5月に開催の創基100周年記念式典参加の際にはぜひお立ち寄りください。

### 建 物 配 置 図



北水同窓会 親潮 第288号

平成 19. 2. 28

## 北大フロンティア基金のお願い

北海道大学フロンティア基金  
学内ディレクター（水産科学研究院）  
猪上 徳雄（41セ）

北海道大学では昨年10月から創基130年目の挑戦として、北海道大学独自の支援基金として北大フロンティア基金を創設することにしました。今

回、「北大フロンティア基金創設のご案内とご協力のお願い」のリーフレットを同封させていただきました。

現在、水産学部創基100周年の一環で「水産科学研究院教育研究・学術交流支援基金」の募金活動中ですので基金の寄附が重複して行われております。お間違いないように、こちらもよろしくお願い申し上げます。

## — ◆ 会員の受賞 ◆ —

### 田口哲氏（昭和43ゾ） 2006年度 海洋学会賞 受賞

戸田 龍樹（昭和59ゾ）

創価大学工学部環境共生工学科の田口哲氏が、「アロメトリーを応用した植物プランクトンの生物海洋学的研究」によって、2006年度の日本海洋学会賞を受賞されました。同学会は海洋学の進歩・普及を目的に設立され、現在約2000人の会員を有し毎年優れた研究に対して「日本海洋学会賞」を授与しています。今回の田口氏の受賞は、植物プランクトンにアロメトリー的解析手法を初めて応用しその生理生態学的な特性を明らかにし、生物海洋学に顕著な貢献をしたことが評価されることです。

田口氏は1968年に水産増殖学科（浮游生物学講

座）を卒業後、大学院水産学研究科に進学。1973年に博士課程を修了し博士学位を取得されました。その後ベッドフォード海洋研究所のカナダ国立科学省奨励研究員を皮切りに、テキサス農工大学主任研究員、ハワイ大学助教授にいたる約20年間を北米の研究機関で過ごされました。1989年には水産庁北海道区水産研究所海洋環境部生物環境研究室長として帰国され、1995年には創価大学工学部の教授に着任されました。この間多くの学術雑誌に論文を発表しながらも、特に帰国後は精力的に若手研究者の育成に努められました。

創価大学着任後は、2003年に環境共生工学科を立ち上げられ最初の学科長として学部改革の先頭に立たれました。毎年多数の学部生や大学院生を指導され、その薰陶を受けた学生達は国内外の研究機関や企業において活躍しております。今後も研究者としてのみならず教育者としての益々のご活躍に期待しここに受賞のお喜びをご報告申し上げます。

## — ◇ 支部・会員だより ◇ —

### 平成18年度北水同窓会 京滋支部総会報告

北水同窓会京滋支部長 小林 正昌（39増）

平成18年10月28日（土）夕刻よりＪＲ京都駅八条口ホテル京阪最上階の「レストランオーク」にて開催しました。

総会・懇親会への出席者は前年までメッツェンを含め増加傾向にありましたが、18年度はやや減少し、メッツェンの参加者皆無の状況でした。

総会では事業報告として、5月20日に大阪で本部総会があり、小林・高木両名が参加しました件、支部長・幹事（2名）の役員改選期に当りましたが参加会員全員の合意により全員留任と決定しました。

会計報告では平成18年収支中間報告（平成18年1月1日～10月20日）があり出席会員全員により承認されました。

その他の事項として平成19年には北海道大学水

産学部創基100周年に向けての記念行事実施等について募金依頼があり、「趣意書」を添えて協力の御願を致しました。

懇親会に入り関岡大先輩（S17卒）の乾杯の音頭で始まり、自己紹介や近況報告等を交えながら、先輩の方々、若手の会員等世代の垣根を取り払っての暫しの歓談をし親睦を深める事が出来ました。中堅会員より一年に一回の総会・懇親会、魅力あるイベントにしてはの提案もあり、今後御夫婦での参加など視野に入る事等検討する事としました。

最後に先輩による前口上からの「水産放浪歌」、若手会員の音頭による「都ぞ弥生」を大合唱をし、平成19年も元気な顔での再会を誓い解散しました。

（当日参加同窓生）

関岡滋恭（S17増）、三輪二良（S30遠）、目片徳治（S33増）、小林正昌（S39増）、中山嘉文（S40漁）、澤田宣雄（S57増）、高木正夫（S62漁）、大喜良孝（H元食）、関慎介（H13海）、若林博（S54増）、竹上健太郎（H16生）、吉田龍生（H3化）

以上



### 二五会 日本最南端での集い

唐崎 芳次（25ゾ）

日本最南端の海の生き物たちを育て増やして、絶海の孤島の波照間島の島おこしに役立てるようとに今年2006年4月に、二五会のメンバーが波照間島小学校付属水族館を船客待合所に作ってあげました。

これは昭和33年に全国の映画館で公開された“海は生きている”の映画製作に当たって波照間島で生物指導した縁が50年近く続いているためのものです。

この水族館は観光客目当てではありません。ここで得たたくさんの飼育、繁殖の技術、知識経験が、やがて島の人たちの自助努力によって、わが

国の最南端の海の生き物たちの保護繁殖活動に役立つだけでなく、観賞用、食用、加工用など多目的に島の重要産業になることを目指すためのものです。

7月10日～14日の今回のツアーは、上記の趣旨を踏まえて、ただの物見遊山の旅ではなくて、島おこしの応援旅行でした。波照間島小学校も訪ねました。

近くにある黒島では、アワビやシャコガイの生存率、成長率が常識では、信じられないほど良い非公開の飼育場をつぶさに見てきました。魔法の水ともいえる第4紀の氷河期の地下海水によるものであろうということでした。

フタゴ会の仲間が入学した時から60年になろうとしている時に、初心忘れることなく、北の海の生き物にこだわらず、日本最南端の波照間島や黒

島の海や生き物についても新しい知見を得て、大いに語り、夢を広げ、これから水産増殖のありかたに一石を投ずる事ができた楽しい旅でした。

台風3号が過ぎて大丈夫と思っていたのに続けざまにきた台風4号に帰途石垣島で足止めされました。おかげで心ゆくまでゆっくりと歓談できた

ことは、予期せぬ幸せでした。

参加者は岸本不二夫、佐々木建、唐崎芳次、小林哲夫夫妻、高杉勉夫妻のほかに波照間島島おこしの趣旨に賛同した同行者15名、合計22名でした。

2007年は函館で開催の予定です。



シーサー 岸本不二夫画（06.07.13）

## 昭和39年入学及び 昭和43年卒業の同期会 斎藤 勝（43ギ）

おかしなタイトルではありますが、この時代にゆかりのある者の同期会を10月21日 東京の「パールホテル茅場町」で行いました。

この同期会は平成12年10月 函館 湯の川、平成15年10月 札幌 定山渓と3年ごとに北海道開催が続き、今回は東京となりました。

参加者は、北海道・東北はもちろん関東までが中心で、遠くは鳥取からも駆けつけてくれました。しかし家族のこと・自分の健康・仕事等で急に参加できなくなった者が出て、44名の参加にとどまりました、この年頃の難しさを感じました。

今年は一番若いメンバーでも59歳を向かえ、身の回りにも大きな変化があった時期なので、各自

から「近況」のコメントを集め、纏めて参加者に配布しました。  
皆、懐かしい顔を思い浮かべながら読んでいたようです。（良い企画でした：自賛）

会は、型通り「同期物故者の黙祷」から始まり、幹事長の挨拶もそこそこに飲食、今回の目玉、津軽三味線漫談の大田家元九郎と、森繁・五木ひろしの物まね漫談のはたけんじなどの生出演にやんやの喝采。

その後のビンゴゲームでは、1万円の旅行券、5千円の図書券など豪華商品が山盛り。

また、来年は開学100周年記念のイベントもあると聞き、函館から来た同期の田島教授に少しばかりの寄付も託すことができました。

宴会は大いに盛り上がり、中締め後も会場から去る人はなく、9時過ぎに幹事がお願いして各部屋に引き取ってもらいました。

メルシャン(株)から寄付いただきました沢山の焼酎・ワインなどすべて飲みつくし、それでも足りずホテルから出て、近くの居酒屋にて3時頃まで元気だった人もいたとか、さすが「水産」と言つていいのか、各自御自愛のほどを…

次回は卒業40周年、平成20年 函館開催と決ま

りました。 元気で再開しましょう。

2006/10/22 幹事一同

「近況集」ご希望の方には送付いたします。下記に連絡ください。

Masaru.saitoh@furuno.co.jp



## 寿洋会（新制遠漁2期） 箱根で開催

高橋 孝（24工）

この所毎年開かれている寿洋会は菊地有一君に幹事を御受け戴き平成18年10月3日箱根強羅温泉山田屋で行われました。

関東地方は前後は雨でしたが3日・4日は時々日が差す曇りでますますの天候で旅館からは箱根の温泉街や山々がきれいに見渡されました。

今回の参加者は久しぶりの長老の渡辺公郎兄や安住夫妻、山崎夫妻、安井、加賀谷、菊地、高橋、東原、船水、日野、舛田、松浦、渡辺（静）計15名でした。各自ゆっくり温泉につかり午後6時写

真撮影後宴会が始まりなごやかに歓談しました。

話題はやはり学生時代、特に練習船おしょろ丸、北星丸の乗船中の出来事で船長や、航海士におこられた模様が面白、おかしく話され、皆大笑いのうちに終り、更に幹事室に移りおそらくまで談笑しました。

ただ酒豪ぞろいでしたが今回はあまり酒が進まず喜寿を過ぎた年令を感じさせられました。

翌4日は9時に宿を出発、ロープウェイで大涌谷に向い、途中広葉樹の茂った谷や源泉の水蒸気の噴出を眺め喚声があがりました。

大涌谷到着後約1時間半附近を観光、ガスがかかったり、消えたりで箱根の景色を堪能しました。

その後バスで小田原に向かい、そば所寿庵にて昼食、12時半頃散会となりました。



前列左より 菊地、高橋、加賀谷、山崎、安住、山崎夫人、安住夫人  
後列左より 渡辺(公)、日野、舛田、船水、東原、安井、渡辺(静)、松浦



## 「昭和34年卒業生同期会」 開かれ る

齊藤 勝男 (34ゾ)

平成18年10月4日函館近郊の鹿部ロイヤルホテル、鹿部カントリー倶楽部で同期会及びゴルフコ

ンペを開きました。参加者は20名でゴルフをする人は9名と若干淋しい会合となりました。昨年までは1年置に札幌と函館の近郊で開催されていましたが、全員が古希となって元気な内は毎年開催することに決りました。今回参加者が少なかったのは昨年に引継での会であった事と来年の学部100周年記念行事に参加したいので今回は欠席と



前列左より 金石、北山、沢田、川村、佐藤、川岸、伊藤  
中列左より 菊地、小野、阿部、石塚、米田、舛屋、中川  
後列左より 齊藤、堀、本田、沖、市川、谷崎

言う人もあったためと思われます。

当日は晴天に恵まれ、午前中のゴルフではとても70才とは思われない程飛す人も居り、賑かな中にも真剣なプレイが行われました。今回の優勝者は伊藤尚人君です。宴会ではゆっくりと温泉を楽しんだ後に開催され、各人の現状報告ではやはり

70才以上となると病気の話などが多く夜遅くまで和やかに楽しい時を過しました。

平成19年5月に学部100周年記念行事が開かれるので、その前日に同期会を今回と同じホテルで開催する事に決定しました。多数の参加を期待しております。



## 昭和37年卒 同期会

和泉 博邦 (37ゾ)

2年振りに同期会を札幌市で開催しました。

日 時 平成18年9月22日（金）午後6時

場 所 京王プラザホテル札幌

出席者 42名

漁 業 7名 (大山、大割、壁矢、  
田畠、保谷、三浦、  
山近)

遠 漁 7名 (五十嵐、泉、大屋、  
澤井、豊沢、平野、  
三好)

製 造 13名 (植野、大西、織井、  
川向、小島、坂野、  
新藤、秀里、福田、  
細井、三浦、山田  
(誠)、山本)

増 殖 15名 (阿部、池田、和泉、  
太田、小野里、河村、  
菅、菅野、塩瀬、田  
中、大長、中村、西  
川、丸山、吉野)

このほかに遠漁 三好、製造 織井、  
増殖 丸山の奥様3名が出席

ホテル最上階（22階）の眺めのすばらしい洋室で開会し、物故者への黙祷の後、和泉幹事代表の挨拶、田畠の乾杯で酒宴に入り、出席者全員の近況報告、小島の音頭で「逍遙歌」「都ぞ弥生」を齊唱、2年後次回開催地である函館市での再会を誓った河村の閉めの乾杯で一次会を終えました。

二次会は、同じホテルの4階和室で開催し、卒業以来始めて会う者もおり懐かしく、学生時代の思い出話や最近の我が身にまつわる話題等々本当に楽しい一時を過ごすことが出来、よかったです。



## 第 57 期 札 幌 同 期 会

和田 靖裕 (42ギ)

去る7月14日(金)に札幌での第57期の全学科同期会を開催しました。平成15年に札幌近郊を含め初めての札幌圏同期会を有志一同で開催してから好評で、毎年7月の第2金曜日午後6時30分から会場もできるだけ同じということで、札幌駅北口近くの札幌アスペンホテルと決め今年で三回目となりました。今年は直前まで26名という多くの参加が期待されましたが例年と同様の20名という方々の参加ではありました。学科ごとに幹事を決め連絡を取り合って、今回は遠く神奈川県からそして函館からと参加いただき旧交を暖めることができました。この会は今後とも毎年の例会として開催することにしておりますので、全国各地から

出席して頂ければ幸いに存じます。なお、学科の幹事は、和田・兵藤(漁業・遠漁)、杉本(製造)、谷口(増殖)となっておりますので、幹事宛にご連絡ください。お待ちいたして居ります。

(7月吉日記)

### 写真

前列左から 森(製造)、兵藤(漁業)、高田(遠漁)、和田(漁業)、中島(遠漁)、牧野(故人)(漁業・小樽)、諏訪(旧姓 原 増殖)

中列左から 山岸(宏雄)(漁業)、山田(漁業・同期入学・神奈川)、橋本(漁業)、安本(製造)、大谷(製造)、山岸(義三郎)(製造)、荒井(増殖)

後列左から 佐藤(製造)、岸本(漁業・函館)、山岸(吉弘)(漁業)、羽生田(製造・石狩)、杉本(製造)、千葉(漁業)



## 昭和55年卒同期会開催

木村 暉夫 (55ギ)

さる5月27日、昭和55年卒の仲間たちが全国から函館に集まり、卒業から四半世紀の春の宴を催しました。

光陰矢のごとし、函館で過ごした日々からあつと

いう間に時が流れ、若き血潮に燃えた我々もいつの間にか人生の折り返し点を過ぎ五十路に差し掛かっています。今でも我等の原点はあの頃の函館にあると信じ、今だからこそその原点の地で仲間と再会したい。有志たちが1年以上も前から輪を広げ、準備を進めて迎えた同窓会はその参加人数たるや73名、お迎えした先生たちを加えると85名とちょっと親潮でも自慢できる大同窓会となりま

した。

参加が叶わなかった仲間たちのために、その宴を簡単にレポート致します。

時節は五稜郭公園の桜も終わり、北海道でもっとも素敵な季節を迎えた5月下旬の土曜日、場所は湯の川温泉街の平成館海洋亭。開宴前の会場の大広間はまるで修学旅行の小学生のように、興奮気味にそわそわと落ちづかず、ざわめくオジサン、おじさん、小父さんの集団と、わずかばかりの元少女達。HBCのアナウンサーである赤城敏正君（増殖）の巧妙な司会で、しらふのうちの健全な姿をなんとか集合写真に撮り終て（この時のカメラマンさんは本当に小学生をあやすが如きでした。）開宴、ご来賓の先生方を代表して漁業課の佐藤修先生に、北水同窓会からは食品の猪上徳雄先生にご挨拶を賜り、木村暢夫君（漁業）の乾杯で宴は一気にヒートアップしたのでした。大広間いっぱいに幾何学的配列をした宴席は、すぐに自然の法則に従いカオスの状態へ。あちこちで先生方を囲む車座が出来、杯が重ねられてゆきました。しかしあ互い歳を取ったものです。先生と思いご挨拶をしたら実は同級生！お互いの変貌を褒めたり、笑ったり。四半世紀前にタイムスリップした会場には加藤智也君（化学）編集の力作「思い出のシーン」の数々の写真が投影され、それをバックに全員が一言スピーチ。近況を語るもの、思い出を語る者、等等。でも一人一言でも80名も居れば延々となるのですが、熟年パワーは熱い！あつ

と云う2時間が過ぎ、小林次郎君（増殖）のエールで校歌、寮歌を斎唱。80余名の大合唱は地響きの如くホテルを揺るがし、当夜のお客様を驚かしてしまったようです。最後は本同窓会の元締め役（？）である早崎文子さんに感謝の花束贈呈をし、中井啓二君（食品）の三本締めにてお開きと致しました。

しかし一夜限りの青春を惜しむ面々は、大門へ繰り出したり、ホテルの部屋で2次会、3次会を朝まで続けたのでした。宵と酔いにまぎれ四半世紀を越えて求愛ならぬ旧愛の告白もありましたそう。また一次会からカメラを持って会場を走り回っていた木村暢夫くん、加藤智也君、平間祐志君（化学）、渡辺孝博君（食品）ら幹事たちは2次会の喧騒の中でも撮影した写真やビデオの編集に勤しんでいたことを報告しておきます。

翌朝は別れを惜しむ気持ちを表すような大雨。中継現場に朝一で飛び立つ赤城君の乗るANA機を平成館の屋上の露天風呂から宿醉のまま見送った後、名残惜しみながら解散、雨の函館を後にしました。

わずかな時間ながらも夢多き日々を振り返り、恩師・級友と旧交を温め、これから的人生に向かいお互いエールを送りあうことが出来ました。

以上、次にまた会える日を期待して報告を終えます。

尚、当日ご参加いただいた信濃晴男先生が昨



秋10月16日にご逝去なされました。先生には本同窓会の相談役としても大変お世話になっておりま

した。永きに渡るご恩に深く感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



## — ◇ 追 悼 ◇ —

### 黄金末広君(昭16後漁)の死を悼む

上野 元一(昭16後漁)

平成18年9月22日の夜、御子息の電話で彼の突然の訃報を聞き取りあえず23日晝札幌に行く。

原始福音キリスト幕屋葬の通夜、告別式でした。初めて経験する宗教に彼が信じて生きた新しい姿に触れた想いでした。

長い間住み慣れたオホーツク海に面した紋別を離れ札幌に移住し余生を楽しく送っていると5月に手紙を貰ったので7月末、彼との再会に期待を膨らませて訪れた折り老人性肺炎に罹り日頃の元気な彼ではありませんでした。然し久し振りの話に花が咲き“来年又来るから”と言って別れたのが彼と会った最後でした。

振り返ってみると昭和14年(1939年)今の北大水産学部の前身函館高等水産学校漁労学科に入學し勉学に励んでから今日まで六十有余年の交友でした。不幸にも昭和16年12月(1941年)太平洋戦争が始まり繰上卒業、彼は南方のラバウルで昭和20年(1945年)終戦を迎える奇蹟の生還を得ました。

戦後、小樽市の日東水産株式会社に戻り底曳網漁業に従事、昭和27年(1952年)北洋母船式鮭鱈漁業が許可になってからは独航船主として参加し、更に紋別に移ってからは底曳網漁業の運営にも当たり昭和33年(1958年)東海石油株式会社を設立しその事業に携さわった。彼のこうした巾広い経験、知識と更にその上備った豪放磊落な性格は人を魅了し、尊敬されたものでした。

平成18年7月に会った折には90才まで元気でいて此からの希望ある世の中を見て生きて行こうと言い合ったばかりでしたが残念でなりません。最愛の得難い友を失った悲しみは言いようがありま

せん。どうか安らかにお眠り下さい。否、キリスト教ではキリストの“みもとに”と言うのでしょうか。

#### 御遺族

黄金千代(奥様)

住所 062-0922

札幌市豊平区中の島2-10-3-4-702

#### 追伸

最近逝くなつた同級生のことを思う。

鹿児島大学で長く練習船かごしま丸船長として学生の指導に当たった植田総一君、学生時代遠洋漁業課程の商船実習の折り米潜水艦の魚雷攻撃を受け生死の境を越えて生き抜き後年兵庫県庁で定年退官した梶川太郎君、水産資源の基礎研究に捧げた石田力一君、特異な才能を生かし水産業の技術向上に盡した西谷喬助君等私の周囲は淋しくなつたが、此からの若い水産人の栄えある人生が開ける事を祈つて止まない。

### 信濃晴雄先生のご逝去を悼む

川合 祐史(55食)

北海道大学名誉教授 農学博士 信濃晴雄先生(特)は、平成18年10月16日(月)、急性心不全のためご逝去されました。享年74歳でした。

先生は、昭和8年8月16日北海道札幌市に生まれ、昭和31年3月北海道大学農学部農芸化学科を卒業、同学部研究生を経て、昭和32年1月北海道大学助手(水産学部)に任じられ、同47年4月助教授、同59年12月教授に昇任し、水産食品学科食品製造学講座を担当されました。平成7年4月には学部改組により海洋生物資源化学科食品機能化

学大講座を分担され、同9年3月31日停年により退官されました。先生は、本学在職期間中、海洋と食品の微生物学を中心に教育・研究に従事し、また、評議員として大学運営に参画するとともに学部の充実と発展に指導的役割を果たされました。

先生の研究面における第一の成果は、海洋における炭素の循環に関係して、海底堆積物の主要成分をなす炭酸カルシウムの生成機構に海洋微生物が寄与していることを先駆的に解明されたことです。その後、微生物学講座から食品製造学講座への異動に伴って、海洋微生物から魚介類、水産食品に関わる微生物へと研究対象の範囲は広がり、特に伝統的水産発酵食品の熟成に関与する要因と優勢細菌相を詳細に検討し、風味や保存性、安全性など品質を左右する条件を明らかにされました。先生は、微生物生態学的視点からわが国における食品保藏学の基礎の確立と発展に大きく貢献されるとともに、有用微生物の研究を通して日常の食生活においても微生物が深く関わっていることの啓蒙にも大きく寄与されました。

北海道大学を停年退官後は、北海道立工業技術センター長に就任し、組織・施設の充実と产学官共同研究の促進に努めて函館地域および北海道の工業技術の高度化に貢献され、平成16年3月同職を退任されました。平成13年11月には長年の科学技術に関する功績と地域産業に対する貢献が高く評価され、函館市文化賞を受賞されました。

信濃先生は、通算47年の永きにわたり、幅広い識見と誠実で温厚な人柄をもって我々を見守りつつ、常に大所高所から進むべき方向を示してこられました。

昨年5月の昭和55年卒同期会（函館）に出席していただいた時には大変お元気そうでしたので、まさかこんなに早く逝かれるとは全く誰も予想しませんでした。奥様のお話によりますと、亡くなるその日も電話でいつも通りにお話をされていたとのことです。先生は、甘党であり愛煙家で、しかも大の医者嫌いで、本学在職中一度も健康診断を受けられなかったほどです。「煙草十徳」の書を掲げて好きなものを断つとストレスがかえって体に悪いと説いておられました。さすがの先生も

近年は足が不自由になり、糖尿病とそれに合併して白内障を患われておりましたが、まさしくご自分の好きな生き方を全うされたのではないでしょうか。

先生はスポーツ万能でスキー指導員の資格をもち、情熱的な阪神タイガースのファンでもありました。競馬をこよなく愛し、麻雀もお好きで、講座で競馬を覚えた学生、朝まで麻雀にお付き合いした学生も少なくありません。学生達にはご自分の子供以上に愛情を注ぎ、また、自講座他講座の区別なく、気さくに声をかけられました。社会に出てからも先生のもとを訪れる卒業生は多く、産業界で活躍する卒業生により「信濃会」（代表森田昭博氏、48食）と称して先生を囲む集いが催されるようになりました。

葬儀は10月18、19日に近親者のみにより執り行われましたが、11月11日（土）、ホテル函館ロイヤルでの「信濃先生を偲ぶ会」には、全国から80名あまりの卒業生が集い、先生の思い出を語り合いました。ご参集いただきました方々には厚く御礼申し上げます。また、準備期間が短かったため関係者全員に直接ご案内を差し上げることができず、eメールを介してネットワークで広げていただきました。連絡不行き届きの段はご容赦いただきたいと存じます。

信濃先生のご逝去は誠に痛惜の念に耐えません。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 会員死亡通知

信濃 晴雄（元教官）	平成18年10月16日	逝去
		函館支部様より
宮森 文雄（6セ）	平成18年11月8日	逝去
		宮川芳明（25セ）様より
原 茂（13ヨ）	平成19年1月22日	逝去
		ご家族様より
中野 豊（14セ）	平成18年10月18日	逝去
		ご家族様より
黄金 末広（16後ギ）	平成18年9月22日	逝去

	上野元一(16後ギ)様より
益田 宗巖 (18セ)	平成16年9月 逝去 大阪支部様より
網野善治郎 (19ギ)	平成19年1月3日 逝去 宮脇末治 (19ギ) 様より
大内 弘一 (20セ)	平成19年1月21日 逝去 穴澤邦雄 (26セ) 様より
中西 留雄 (23ゾ)	平成17年11月2日 逝去 大阪支部様より
加藤 要一 (23セ)	平成19年1月4日 逝去 月津増寿 (23セ) 様より
鈴木昇一郎 (24ギ)	平成18年6月14日 逝去 竹澤 浩 (25ゾ) 様より
内藤 裕一 (24ギ)	平成18年12月11日 逝去 土田健治 (35ゾ) 様より
森田 勝男 (24ギ)	平成17年12月23日 逝去 ご家族様より
富井 宗昭 (24エ)	平成18年11月1日 逝去 菊地有一 (24エ) 様より
赤田 年己 (25エ)	平成18年6月7日 逝去 増田紀義 (25エ) 様より
安達 欣市 (26教ギ)	平成18年9月2日 逝去 村山支部様より
平泉 修吉 (26教セ)	平成18年9月12日 逝去 海老名 稔 (30セ) 様より
徳永 俊夫 (26セ)	平成18年12月23日 逝去 穴澤邦雄 (26セ) 様より
増田 耕司 (26セ)	平成18年1月2日 逝去 伊勢良一 (26教セ) 様より
三觜 純 (29ギ)	平成18年8月20日 逝去 函館支部様より
小林 年 (31セ)	平成18年8月6日 逝去 箕田 嵩 (31ゾ) 様より
金井 英治 (34セ)	平成18年1月 逝去 函館支部様より
川原 雄一 (34セ)	平成17年4月27日 逝去 羽田野六男 (31セ) 様より
須賀 信之 (34セ)	6年くらい前 逝去 函館支部様より
高星 好英 (34ゾ)	平成18年8月16日 逝去 高橋 守 (34エ) 様より

五十嵐 傑 (36ゾ)	平成18年8月9日 逝去
尾身東美 (36ゾ) 様より	
佐野 好幸 (38セ)	平成18年12月19日 逝去
佐野典達 (28エ) 様より	
白井 馨 (39ゾ)	平成18年10月25日 逝去
羽田野六男 (31セ) 様より	
牧野 邦介 (42ギ)	平成18年11月30日 逝去
兵藤 熱 (42ギ) 様より	
二木 紘一 (44化)	平成18年3月 逝去
酒井祥次 (44セ) 様より	
佐藤 稔 (45化)	平成18年8月19日 逝去
札幌支部様より	
高橋 章嗣 (55ギ)	平成18年12月13日 逝去
広崎惇一 (55ギ) 様より	

— ◻ ご 案 内 ◻ —

**藤井船長の航海写真集50冊図書館に**  
元医務室看護婦 鵜沼 ワカ

平成18年11月20日松島寛治・元うしお丸船長（以下松島船長と略記）と共に、今は亡き藤井武治・元おしょろ丸船長（以下藤井船長と略記）が残された、おしょろ丸II世・III世・IV世号の航海記録である写真集50冊を水産学部図書館に収めることができました。今の世の中、物があり過ぎて収納する場所が無くなっています。大学も同じようです。

この写真集は藤井船長が亡くなったあと、たった一人になられた奥様のもとに残された、何十冊ものおしょろ丸航海の写真集です。「想い出のある方には差し上げていたが、まだこんなにも残っていて、自身も78才になり粗末にならないように、どなたか想い出のある方に一冊でも収めてもらいたく願っています」とのこと。そんな奥様の話を聞いた松島船長が、残されたアルバムが場所をとらず、永久保存出来る方法はないかと、いろんな人に相談するうちに、DVDという方法があるこ

とを知り、写真メーカーにも出向いて相談したところ比較的安価にできる方法もあるなど情報を集めて船キチだった私に、藤井船長の写真集の現状などを知らせてくれたものでした。

実は、私が在職中知人の紹介で知った元北海道新聞社記者で札幌在住の北海道写真史に詳しい渋谷四郎氏（『北海道写真史』幕末・明治、平凡社、1983年）が藤井船長のおしょろ丸航海アルバムを見せてもらいたいと来学された時、現役時代の船長室に案内したことがあります。その時船長の説明を聞きながら航海実習のアルバムを見て「これは大変貴重な記録です」と感嘆されたことを覚えています。その時以来、私の頭の中には、藤井船長の航海アルバムは「貴重な記録遺産」になるものとして、銘記されていました。

松島船長と私が藤井船長夫人から預かってきたアルバムは、ひとまず私の家に置いて、何冊あるか、どんなものが残っているか、分類・整理することにしました。船長が背表紙に書かれた表題の年号の古いものから分類していきました。『昭和29年南方航海』が一番古いもので、『昭和62年船長退官を祝した応援団員贈呈』のものまで50冊ありました。早速水産学部図書館係長の中條氏に相談を持ちかけたところ、心良く「貴重なもの」として引き受けくれることになりました。一方松島船長は、新しい写真技術に詳しい蛇沼先生に相談されていて、永久保存の方法を考えて下さることも知りました。

50冊の写真集の分類は表題の古い順に記してみます（昭和・航海を略す）。

- 1) 『29年南方』 2) 『30年北洋』 3) 『32年50周年（北水）・おしょろ丸II世30周年、33年スワロフ日食観測』 4) 『34年南方』 5) 『35年北洋』
- 6) 『39年北洋、南方』 7) 『40年北洋』 8) 『41年北方墓参』 9) 『41年北洋』 10) 『42年北洋』 11) 『42年南方』 12) 『43年北洋』 13) 『43年南方』 14) 『44年北洋』 15) 『44年南方』 16) 『45年北洋』 17) 『46年北洋①』
- 18) 『46年北洋②』 19) 『46年南方』 20) 『48年北洋①』 21) 『48年北洋②』 22) 『49年北洋』 23) 『49年南方』 24) 『50年北洋①』
- 25) 『50年北洋②』 26) 『51年北洋』 27) 『52年北洋』 28) 『52年南方』 29) 『52年名古屋』
- 30) 『53年北洋』 31) 『53年南方』 32) 『54年南方』 33) 『55年南方』 34) 『55年富樫退官』
- 35) 『56年北洋I』 36) 『56年北洋II』 37) 『56年北洋III』 38) 『56年南方』 39) 『56年長崎』 40) 『57年北洋I』 41) 『57年北洋II』
- 42) 『57年水産学部75周年・秋』 43) 『58年練習船起工式（IV世号）』 44) 『58年進水式（IV世号）』 45) 『59年新おしょろ丸IV世函館入港』
- 46) 『59年おしょろ丸船長退任 10/15』 47) 『60年練習船会議その他』 48) 『61～62年卒業式』
- 49) 『62年両船長（藤井・三島清吉）退官記念・応援団』 50) 『船舶資料集』

以上のように50冊の中には、おしょろ丸III世号進水式のものや、47年北氷洋のものが抜けています。又、29年～40年までは白黒で41年からはカラーになりますが、すでに色あせてきているもの、説明文がないもの、写真にも日付がありません。船長が付した説明文だけが頼りです。それによると、おしょろ丸II世号は昭和2年、帆船として建造され、その後汽船となり、船体延長され、加えて30余才の老女になりながら、昭和30年には北洋に、昭和33年は日本観測隊の随伴船としてスワロフ島の日食観測に活躍した様子や、日本船舶最北点の記録を作ったIII世新造10年目の昭和47年の北氷洋航海での四角い太陽、セイウチの生態写真など見る者を感動させてくれます。（昭和47年ものは、学生の精神教育用に複写させてもらってあった鶴沼用を提供補充）

かつて船長が船キチの私に話してくれた「おしょろ丸に箱がつくように10年毎に何か大きな記録を作りたいといつも思ってやってきた」という言葉も写真集を見るだけで伝わってきます。又、『昭和30年の北洋』は日米学術交流で元田先生が団長で行ったおしょろ丸II世最初の北米航海であったこと、その後何十年にも渡り、日系人会の人々、コディアック島のムーラー夫妻、ドイル先生夫妻、アラスカ大学の西山先生一家などが写っています。おしょろ丸がいかに国際学術交流史を残されたか、多くの人脈を通して北大の歴史の中

で貴重な財産になったことがわかります。

とりわけ平成14年3月、北星丸Ⅲ世と共に廃止された特設専攻科。かつて世界第一を誇るわが国の水産業の実を掲げ得る有為の人材、ことに国際漁場において漁業船隊を統率し、科学的に指導啓発の任に当たる優秀な海上技術者の養成を目的に昭和16年設置された遠洋漁業科（『75周年史』P.35 村山佐太郎第三代校長）。藤井船長はその第三期生。特設専攻科が廃止された今後、おしょろ丸が今まで残したような輝かしい国際色豊かな活躍が見られなくなるかもしれません。

おしょろ丸と共に生きた藤井船長のお人柄とその人生：人を愛し、花を愛し、魚をとることに夢中になっている様子が一目でわかる感動の写真集です。

どうぞ同窓の方々、来学の折には、この藤井船長の遺産を見て帰ってください。写真集が図書館に収まることを伝えた時、藤井船長の奥様は大変喜ばれ、早速仏壇の船長に報告すると言ったあと、改めて図書館に写真集を見に行きたい、と言われた言葉も忘れられません。そして保管を引き受けてくれた図書館係長の中條氏の「同窓の人達がアルバムを見て再びあの若い日に戻れる手助けが出来るのもうれしい」と言われた言葉も。

どうぞ来学の折には見て帰ってください。写真集といえば、明治42年以来昭和28年まで在職された疋田豊治先生の残された膨大な写真乾板を焼き付けたものがアルバムとなっています。同窓会室にありますので、これも是非ご覧ください。

以上お知らせです。

平成18年11月22日記

**新刊紹介**  
**大森 信、ボイス・ソーンミラー著**  
**『海の生物多様性』**  
 池田 勉 (43ゾ)

著者の一人である大森 信（おおもり まさと）氏（35ゾ）は、東京大学海洋研究所助手、カ

リフォルニア大学スクリップス海洋研究所客員准教授、ユネスコ自然科学院企画専門官、東京水産大学教授を経て現在（財）熱帯海洋生態研究振興財団理事（阿嘉島臨海研究所所長）。数年前、NHKより連続して放送された「海—青き大自然」の総監修者としてご記憶の会員もおられると思います。プランクトンとサンゴの研究で著名で、日本サンゴ礁学会評議員、日本水路協会理事、海洋政策研究財団海洋・沿岸域研究会委員などをつとめる傍ら、サンゴ礁の保全修復の啓蒙活動を活発に行い、近年はサンゴの卵から群体まで的人工飼育に世界で初めて成功しています。

本書は地球環境と人類を護るために、海の生態系についての理解を深めることを目的に、生物多様性と環境について広範な事例をあげて論じた我が国では最初のものであり、共著者のソーンミラー氏は米国の環境保護運動家として著名な方です。本書の内容について、「生物多様性」の解説から始まり、海の様々な「生態系の特徴」、生態系を搅乱する「人為汚染」、「温暖化」、生物多様性と生態系の「保全」とそれに向けた「国内外の取り組み」、「私たちの役割」の順で構成されています。本書を読めば、今我々が享受している豊かな生活は、直接、間接に自然環境の犠牲のうえに成り立っているものであることが良く認識されます。現在、海洋環境の研究と教育に携わっている会員をはじめ、海に関連した仕事に携わっておられる会員皆様にも一読をお勧めいたします。

（築地書館発行、B5版、230頁、定価3,000円）

## - ◆ 学内ニュース ◆ -

### 学位取得者と論文題目

[北海道大学博士（水産科学）H18. 6. 30]

#### 課程博士

河合 俊郎：Phylogenetic Systematics of the Family Peristediidae (Order: Scorpaeniformes) (キホウボウ科魚類の系統分類学的研究)

米澤 崇：フレームトロール・システムのモデリングに関する研究	(自然科学研究機構基礎生物学研究所助教授から)
18. 8. 2 一色 賢司	海洋応用生命科学部門 (特) 安全管理生命科学分野教授
論文博士 矢吹 英雄：プロペラ特性を考慮した停止性能の推定と操船・制御への応用に関する研究	(内閣府食品安全委員会事務局から)
18. 9. 6 金澤 貴洋	水産学部付属練習船 (特) おしょろ丸甲板員 (新規採用)

[北海道大学博士（水産学）H18.9.25]

#### 課程博士

伊藤 �欣吾：北日本ヤリイカ個体群の分布回遊と資源変動要因に関する研究
鈴木 勝也：物理モデルを用いた魚群行動特性の定量的評価に関する研究
山田 智：南極海における浮遊性かいあし類 <i>Calanoides acutus, Calanus propinquus, Metridia gerlachei</i> の生活史戦略に関する研究
高橋 隆行：海産魚類仔稚魚の栄養要求に関する研究

#### 会員異動

(平成18年7月1日から12月31日)

##### 着任

18. 7. 2 平松 尚志	海洋応用生命科学部門 (H 5ゾ) 増殖生物学分野助手 (新規採用、H23. 6. 30まで)
18. 8. 1 井尻 成保	海洋応用生命科学部門 (H 4ゾ) 増殖生物学分野助教授 (新規採用、H23. 6. 30まで)
18. 8. 1 清水 宗敬	海洋生物資源科学部門 (H 3ゾ) 戰略配置教員講師 (新規採用)
18. 9. 1 三上 浩司	海洋応用生命科学部門 (特) 育種生物学分野助教授

#### 有朋自遠方來不亦樂乎

(平成18年7月～平成19年1月)

(敬称略)

##### 衛星資源計測学（旧漁業航海学）

石河望美（平15海）7/28

##### 海洋生物工学（旧水産高分子）

千葉 智（平元化）9/8、山本紗代（平16資）11/16、千葉 智（平元化）12/22、千葉 智（平元化）1/18

##### 海洋生物学（旧浮游生物学）

平川和正（48修増）8/18、雑賀 修（53ゾ）8/22、9/18、10/23、11/21、12/11、1/10、池田（高橋）純子（平13海）8/28、清水（高山）恵理子（平10ゾ）9/22、山田 智（58ゾ）9/25、上平幸好（41ゾ）10/13、宇野史郎（44修増）10/16、久保田正（37ゾ）12/1、河村章人（37ゾ）12/7、12/22、山田雄一郎（平9ゾ）12/14、山田奈央（平16海）1/11

##### 生物資源利用学（旧食品生化学）

江藏麻衣（平16資）12/8、佐藤 真（平3食）12/21

##### 育種生物学（旧水産植物学）

長谷川妙子（平16生）9/11、渡邊一哉（平17生）9/16

##### 生物資源利用学（旧食品化学第一講座）

北海道同窓会 親潮 第288号

平成 19. 2. 28

村川謙太郎（平16資）8/11、門田憲二（57食）  
8/12、中秋勝彦（52食）11/8、林 裕也（平15  
資）12/4、田中利幸（平16資）12/8

#### 安全管理生命科学

荒井伸一郎（38セ）10/24、池戸正成（49食）  
11/15、小島 穎（56食）11/15、奥野和弘（42  
セ）10/3、松田知憲（45化）1/24

### 《編集後記》

平成18年度の「親潮」第2号（通算288号）をお届けします。今号では創基100周年記念行事に関連するご案内を掲載しております。趣旨をご理解の上、何卒、記念式典にご参集のほどお願い致します。

また、次号、平成19年度第1号（通算289号）より、親潮の大幅な改訂を行う予定にしております。それに伴い巻頭および巻末に掲載したように投稿規定を大幅に変更いたします。新しい「親潮」に原稿をお寄せいただく場合には、投稿規定を厳守していただくことをお願い申し上げます。なお、次号の原稿締切は平成19年7月10日を予定しておりますことを申し添えます。

（編集幹事 都木靖彰）

#### 親潮投稿規定

寄稿：お一つのご投稿につきA4版・1ページ（1段500字×4段、2000字）とする。この制限以上の長文あるいは連載をご希望の場合は3号分までとする。写真をいれる場合、その分の文字数が減る。

支部・会員だより、会員の受賞、ご案内等：お一つのご投稿につき1段（900字）とする。写真をいれる場合、その分の文字数が減る。

\* \* \* （掲載の可否および掲載号については編集部が決定する。）

発 行 平成19年2月28日

編集兼 猪上 徳雄・都木 靖彰

発行人 平石 智徳・山崎 浩司

発行所 北海道大学水産学部同窓会

（TEL/FAX 0138-42-3681）

Eメールアドレス：hokusui@hotweb.or.jp

ホームページアドレス：<http://hokusui.fish.hokudai.ac.jp>

印 刷 所 三秀印刷 TEL.23-6663 FAX.27-5135

いま豊かな食生活。  
見直しましょう魚のある暮らし。

青森市中央卸売市場



青森中央水産株式会社

代表取締役社長 石川栄一

〒030-0183 青森市卸町1番1号  
鮮魚1部 TEL 017(738)1281  
鮮魚2部 TEL 017(738)1281  
冷凍部 TEL 017(738)8221  
塩干部 TEL 017(738)5511  
加工部 TEL 017(738)6581  
企画部 TEL 017(738)1281  
管理部 TEL 017(738)1181  
E-mail : Comment@aochuu.co.jp  
ホームページ : <http://www.aochuu.co.jp>

人工魚礁による水産資源の保護・増殖に貢献します。

 海洋土木株式会社

本社:東京都中央区銀座3-8-13  
TEL:03-3561-3051  
<http://www.kaiyodoboku.com>

代表取締役 鉢木和三(38才)  
常務取締役 真田篤弘(43才)  
青森営業所長 青山禎夫(39才)  
北陸営業所 中道五郎(39才)

食品工場、厨房内の  
自主検査のお手伝いをします。

★HACCP・ISO導入指導及び検証・評価・改善指導

★食品の微生物検査 ★施設類・道具・器具類の拭き取り検査

★食品・副資材・調理室内的微生物の除殺菌テスト

★食品の賞味期限の設定 ★保存テストのデータ蓄積

★その他衛生指導、社員教育などの御相談をお受けします

株式会社 **キュー・アンド・シー**

代表取締役 奥野和弘(昭和42製造)

松原 伸二(昭和62化学) 久保 雅俊(平成12資源) 佐藤いく子(平成17資源)

分析室 〒065-0026 札幌市東区北26条東22丁目6-7 ☎(011)786-8300 FAX(011)786-8266

豊富な実績と万全な体制でさらに前進をつづけます。

*NAKAYAMA MEDICINES CO. LTD*



# 株式会社 中山薬品商会

代表取締役社長 中山 浩一

本 社 ☎040-0075 函館市万代町20番10号  
PHONE(0138)40-6275·FAX40-3939  
釧路営業所 ☎084-0903 釧路市昭和町2丁目15番地3  
PHONE(0154)52-4101·FAX52-4103  
<http://city.hokkai.or.jp/~nakayama/>

營業種目 船舶儀裝用品並各種船用品全般・諸機械・工具類  
塗料・帆布・口二ブ

(海運局公認、膨張式救命いかだサービスステーション)  
北海道大学水文学部 おしゃろ丸 清流事務所

# 北海道船用品株式会社

介一介  
大幸陽  
藤戸藤  
伊唐伊  
取締役社長  
支店長長

本社 室蘭市海岸町3丁目3番5号 電話0143(代)②1321番  
支店 函館市弁天町25番2号 電話0138 ③0721番  
営業所 苫小牧市汐見町1丁目2番2-106 FAX0138 ③5420番  
電話0144 ③2601番

# (有)山本食品研究所

山本巖彦

〒914-0812 福井県敦賀市昭和町2丁目2316番地

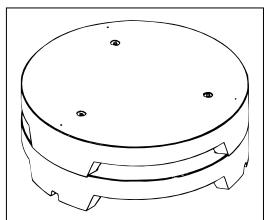
T E L (0770) 23-9297 (代)

FAX (0770) 24-2882

E-mail v-f-labo@aqua.hokudai.ac.jp

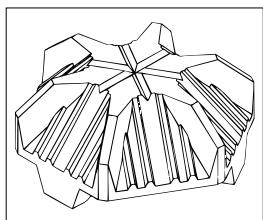
# 未来への海づくりを考える

円形セピア



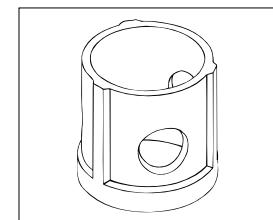
・ヤリイカ産卵場造成

マリノプランテーション



・多目的藻場造成

3.0円筒型魚礁



大型魚礁 人工礁 造成



## 共和コンクリート工業株式会社

代表取締役社長 本間丈士

水産開発部技術顧問 田中毅 (昭44増殖)

水産営業部長 足助光久 (昭40増殖)  
(青森支店駐在)

海洋事業本部副部長 薫田道雄 (昭44増殖)  
(札幌本社駐在)

水産開発副部長 坂下功 (昭45漁業)

本社 〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目28番地(札幌エルプラザ11階)  
TEL(011)736-0204 FAX(011)736-0205

# 北水同窓会 青森支部

支部長 奈良岡 修一 (昭47ギ)

支部長代行 佐藤立治 (昭36エ)

幹事長 天野勝三 (昭54ゾ)

事務局 〒030-8570

青森市長島一丁目1番1号

青森県農林水産部水産振興課

二木幸彦 (昭56ギ)、田澤亮 (平16シ)

T E L : 017-734-9594

F A X : 017-734-8166

# 墓石はもう一つの「家」

日曜・祝日営業



家族が集い、語らい、団らんする。  
「家」と「墓石」には、相通じる役割があります。  
家づくりに、じっくりと時間をかけるように、  
墓石づくりにも、こだわりを深めませんか。  
お墓にかかるあらゆるご相談は、  
実績信頼いちばんの私たちにお任せください。  
最新の技術と親身の真心で、  
皆さまの「思い」をカタチにいたします。

彫刻芸術に感動!!

独自の技術とデザインから  
生まれた彫刻付墓石

アートムーヴ  
シリーズ

大好評  
展示中

新東山墓園指定石材店・日本石材産業協会加盟店

墓石なら 東日本石材 株式会社

お問い合わせ TEL (0138) 54-3030

いしをいれ見れ

ジャックス墓石ローン取扱中

〒041-0835函館市東山1丁目7番2号市営墓園第5期造成地すぐ前裏門通り

■ホームページアドレス <http://www.54-3030.com> カタログをご希望の方はお気軽にご連絡下さい。

# 住所変更届け用紙

勤務先・自宅等に変更が生じたときは必ずご連絡ください。

連絡は電話、FAX、E-mail、郵送のいずれも可です。

切り取ってご利用下さい。

卒業 年次	昭平 年	(漁・遠・製・食・化・養・増・特専 海・シ・生・資) 科卒	
フリガナ		フリガナ	
氏名		旧氏名	
現勤務先	勤務先及び部署		
	役職		
	〒	T	F
	所在地		
現住所	〒	T	F
	自宅住所		

送付先：

〒041-8611 函館市港町3丁目1番1号  
北海道大学水産学部北水同窓会  
電話 0138-42-3681  
FAX 0138-42-3681  
Eメール hokusui@hotweb.or.jp

02	函館	払込取扱票								通常払込料金 加入者負担								
口座番号 (右詰めにご記入ください)										金	千	百	十	万	千	百	十	円
0 2 6 2 0 5 5 8 1										額	※							
加入者名	北水同窓会									料		特殊						
各欄の※印欄は、払込人において記載してください。	※ 本会々費は4,000円です。勤務先等お書き下さい。																	
通 信 欄	昭・平 卒業 学科 年度分 受領書 要・不要																	
払込人住所氏名	(郵便番号 ) ※ (電話番号 - - )								受付局日附印									

払込票兼受領証

口座番号	0 2 6 2 0 5 5 8 1	通常払込料金加入者負担															
右詰めにご記入ください																	
加入者名	北水同窓会	金	千	百	十	万	千	百	十	円							
額	※																
※	払込人住所氏名																
料金	(消費税込)								受付局日附印								
特殊取扱	円																

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。  
切り取らないで郵便局にお出しください。

# 吉原法律事務所

弁護士・海事補佐人 吉原 美智世  
(昭和48年増殖学科卒業)

## 《業務内容》

法律問題に関する紛争処理(交渉・訴訟・調停)・  
企業法務・会社の再建・倒産処理・会社顧問・  
交通・労災・医療事故・行政事件・刑事弁護・  
相続・遺言・自己破産・個人再生  
(法律相談30分5,250円)  
(サラクレ相談無料)

**TEL 011-622-7963**

**FAX 011-622-8414**

札幌市中央区大通西20丁目2番20号 道新円山ビル8階

交通 地下鉄東西線西18丁目駅1番出口

E-mail yosihara@sapporo-law.com